

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

7

July  
2023

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



## 山形県中小企業家同友会 第9回 新庄最上支部総会



## 山形県中小企業家同友会 第37回寒河江支部総会



各支部総会で今年度の役員が選出



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2023年度スローガン

人を生かす経営の実践で

新時代にチャレンジしよう

## 第9回新庄最上支部総会

# 腹を割って話そう！実践しよう！

5月22日、アクーマリエTAMAHIMEを会場として第9回新庄最上支部総会が開催され、多数のゲストを含む23名が参加しました。

総会では、「腹を割って話そう！実践しよう！」をスローガンとした2023年度活動方針が採択され、実行推進を担う役員には支部長として佐藤奈緒氏、副支部長には涌井洋一氏が再任、野尻直樹氏が新任されました。

記念講演は、学校法人新庄学園 新庄東高等学校 理事長・校長 田宮邦彦氏より「すべり止めからファーストチョイスの学校へ～校長就任から8年 新庄東高が描く学校経営と地域のビジョン～」の題でご講演をいただきました。

最上地域唯一の私立高校である新庄東高校は、地域外進学を食い止めたいという地域の思いを受け創立されました。どんな学生も受け入れる地域の受け皿となった一方で、学生は自己肯定感が低く、問題行動や中退が止まらない校風でした。田宮氏は教員時代から改善に向けて働きかけ、2009年から本格的に学校改革が始動。入学者減少の一途をたどる中、教員全員のベクトルを合わせ「愛校心と誇りを持って通える学校」づくりが始まりました。反対も多くありましたが、生徒指導の厳格化、学習支援強化、誰でも受かる入試からの脱却に取り組み、現在は挨拶を大事にし、厳格な服装指導は不要な校風になりました。授業は一斉授業・偏差値至上主義からの脱却に向け動き出し、入試もコース

が複数設けられ、様々な特色を持つ生徒が入学できる形になっています。入試広報課を設置して夜間開催のオープンスクールなどインパクトある施策やSNS広報を実施。こういった取り組みが奏功して、かつて右肩下がりだった地域内の入学シェア率は20%以上に上昇しています。



現在の課題は、教育改革への対応です。人間性重視の教育が大学で進む一方、高校は未だ偏差値重視から脱却できていない実情があります。新庄東高校では自立した「とがためんこい子」の育成を掲げ、大学や海外校と連携し、起業家育成、対話力向上、失敗を恐れず自立した生徒を育む学校づくりなどを進めています。

最後に田宮氏は「生徒は学校だけでなく地域で育てていただくものでもあると思う。皆様の力を借りて育った子供たちがいつか帰ってきて、この地域を活性化させてくれるよう頑張りたい」とまとめ、記念講演が閉会しました。

その後、2019年の支部総会以来となる懇親会を開催。ゲストも交え、和やかに交流を深めました。

## 第37回寒河江支部総会

# 共に新たな価値を創造しよう



5月24日、ホテルシンフォニー アネックスにおいて第37回寒河江支部総会が開催され、支部内外から37名が参加しました。

第1部の総会では「共に新たな価値を創造しよう」をスローガンとした2023年度活動方針が承認されました。活動の旗振り役として支部長に井田進一郎氏(㈲ホンダ井田モータース 代表取締役)、副支部長には伊藤茂氏(特定非営利活動法人あじさい 事務局長)、小野慎弥氏(㈱保険ネットワーク山形 代表取締役)が選任されました。

第2部の記念講演では「連携(つながり)が新たな価値を生む～つながりから切り拓く地域活性化～」と題し、西川町 町長菅野大志氏よりご講演いただきました。

菅野氏は金融庁時代、金融機関と自治体が連携する場として(一社)ちいきん会を創設します。官金の有志が普段から対話することで出たアイデアをすぐに実行でき、部活として始めた活

動が金融庁の室に格上げになるなど大きな動きになっていきました。その他、クラウドファンディングや副業契約など、様々なところと連携し公務員として新しい取り組みをする中で、対話の重要性を感じていきます。

そして町長になった今、菅野氏は「地方創生は競争の時代になっている」と強調し、アイデア勝負が必要だと語ります。西川町では、安心して自分から発信できる場をつくり、アイデアが出る未来志向の組織にするため、希望した職員と町長が1on1ミーティングをすることで気楽にまじめな話をする場づくりをしています。金融機関や民間企業とも密接に連携しながら職員や町民と対話し、AI謎解きやサウナ、NFT付デジタル住民票等の新しい取り組みで交流人口・関係人口を増やしてデジタル田園都市の実現を目指しています。

最後に菅野氏は「地方がお金を奪い合う中で、官民が連携することは非常に大切。ぜひ、対話しましょう」と締めくくりました。

第3部の懇親会は、井田支部長の挨拶の後、後藤代表理事(寒河江物流㈱ 代表取締役)の乾杯で始まりました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、諸制限なしで和やかに親睦を深めました。

## 第27回置賜支部総会

# 同友会運動の輪を広げ、持続可能な地域づくりをしていこう

5月25日、ホテルモンテビュー米沢にて第27回置賜支部総会が開催され、支部内外から34名が参加しました。

第1部の総会では、「同友会運動の輪を広げ、持続可能な地域づくりをしていこう」をスローガンとした2023年度活動方針が承認されました。

活動の牽引役として、支部長に志田清志(㈱ベーカリー中村屋 代表取締役)、副支部長に本多作之助(㈱本多建設 代表取締役)、小関幸一(㈱サンノ企画印刷 代表取締役)、鎌水伸一(㈱ヤリミズ自動車 専務取締役)が選任されました。

第2部の記念講演では「超競争時代に生き抜く経営戦略～会社の強みで地域を支える～」と題し、(株)曙印刷 代表取締役 川合勝芳氏(山形同友会代表理事)よりご講演いただきました。

印刷業界は他業界より早くデジタル化の波が来ており、新型コロナウイルスの影響でそれが急速に進んだこともあって、市場は右肩下がりの状態です。仕事が減る中で機械の性能は上がっていき、他社とクオリティで差をつけることも難しくなっています。そんな中、川合氏は自社の魅力を地域に根差した信頼であると考え、今年の5月に山形の企業の魅力を伝える新事業を始めました。デザイン制作からその運用までを行い、県外の方が知らない、地元の方すら気付いていない山形の魅力を発信で

きる企業を目指しています。

そして描いたビジョンを達成するためには組織の力が重要です。川合氏は高校時代のバレーボール部での経験や、同友会などの様々な団体の役を担ってきたことに触れ「そこで組織の力を知った」と語ります。毎朝の朝礼では理念の唱和と書籍の読み合わせを行う他、毎週の幹部会や月ごとの全体会議など、社員と話し、課題を共有できる場を設けています。

最後に「同友会をうまく使いこなしてほしい。学んだことを愚直に実践し、実績をあげている方は沢山いる。私もこれから新事業で実践していきたい。今年で68歳になるが、経営を doing してこんなにもワクワクしたことはない。まだまだ同友会から刺激を受け、学びを深めたい。自分にはするべきことは沢山あると感じている」と締めくくりました。

第3部の懇親会は、志田支部長の挨拶の後、後藤代表理事(寒河江物流㈱ 代表取締役)の乾杯で始まり、置賜支部らしく大いに盛り上がりながら交流を深めました。



## 第19回庄内支部総会

# NEXT ONE 未来に向かって限りない進化を



5月26日、酒田市のホテルリッチ&ガーデンを会場として第19回庄内支部総会が開催され、来賓を含め34名が参加しました。

第1部の総会では、「NEXT ONE 未来に向かって限りない進化を」のスローガンのもと、組織、経営指針、広報、地域共生の4

委員会体制での活動を掲げた2023年度活動方針が承認され、活動の先頭に立つ役員として、支部長に小寺祐也氏、副支部長に平形洋司氏、鶴岡地区長に五十嵐裕氏、酒田地区長に後藤正人氏が新任されました。

第2部の記念講演では「圧倒的な当事者意識で地域課題に挑み、希望ある社会を実現する」と題して、ヤマガタデザイン(株) 代表取締役 山中大介氏にご講演いただきました。

山中氏は2014年にヤマガタデザイン(株)を創業。地域課題を企業が当事者意識を持って解決すべきと考え、「地域の課題かつ可能性である」という4つの領域で事業を展開しています。

観光領域では「スイデンテラスホテル」を運営。マーケティング重視ではなく田園風景に溶け込むようなコンセプトを大事に

し、宿泊者を囲い込まず外食等で地域との接点づくりを優先し、庄内のファンをつくるビジネスモデルを展開しています。

教育領域では「数十年かかるが教育こそ最も大事な投資」と捉え、教育施設「キッズドームソライ」を運営。フリースクール、プログラミングスクール等のほか、地域の高校生向けのキャリア教育やAI教育の支援も行っています。

人材領域では、若者が戻ってきたくなくなる地域づくりが必要という考えのもとポータルメディア「ショウナイズカン」「チキズカン」で、未来志向の企業情報を発信するとともに、地方の暮らしも発信することでミスマッチがなくなるよう取り組んでいます。

農業領域では、高単価で環境負荷が低く、輸入依存の化学肥料に頼らない有機農業による、持続可能で儲かる「農業経営」と、水田の雑草から発生するメタンガスの抑制という役割も兼ねる水田の自動除草ロボ開発を行っています。

山中氏は最後に「これからは『どんな社会にしたいか』から事業構築する時代。当社も『地域の希望であれ』というビジョンを掲げ、あるべき社会に向けてチャレンジし続けたい」と語り、記念講演が終了しました。

その後、来賓の酒田市 地域創生部商工港湾課産業振興主幹 小林 一晃様のご発声により第3部懇親会を開会。他同友会会員やゲストも交え、さらに懇親を深めました。

# 『労使見解』を基に、自社をよい会社に。 経営指針書の作成で全社一丸体制を目指す

6月10日～11日、ホテルシンフォニーにおいて第28期経営指針をつくる会(経営指針委員会主催)が開講しました。36名の修了生が見守る中、今期の受講生8名が、自社の進むべき道を明らかにする経営指針書づくりの第一歩を踏み出しました。労使見解を読み解きながら、全社一丸体制を目指す経営指針書づくりをしていきます。



開会に先立ち、小川経営指針委員長(㈱カーサービス山形 代表取締役社長)が挨拶に立ち、「同友会の中で経営指針をつくる会は一丁目一番地と言われています。半年間学んでいただき、つくって

終わりでなく、実践し続けることがとても大切です。人間一人に与えられた時間は24時間しかありません。そのすべてを仕事に充てることも可能かもしれませんが、社員3人で割れば8時間、10人では2.4時間でできる可能性があります。社員と同じ想いを持って、同じ方向性で会社を運営していくことがとても大事です。この場に来たのは、送り出してくれた社員、家族がいるからです。一生懸命自分と向き合い、会社と向き合い、よい経営指針書をつくってください」と述べました。

第1講では、山形大学大学院理工学研究科 教授 小野浩幸氏が「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め、経営理念作成を目指して～」と題した講義を行いました。まず初めに、今年3月に開催され、日本中を湧き立たせた『2023 WORLD BASEBALL CLASSICS』の日本チームを例に、困難な目標を達成するために必要なマネジメントについて考え合いました。小野氏は、経営理念は、大きな困難に直面した際に選択すべき道を示す、存在意義を支える価値観であると説明した上で、経営指針明文化は①社員との信頼関係構築のため、②経営指針の全社実践のため、③社員をパートナーとして共に育つために行うと同時に、環境や状況で惑わされることのないよう目指すべき姿を示すためであると説明しました。また、自己管理による目標管理ができる「学習できる組織」こそが強い組織であると述べ、経営者がすべき仕事として、①目標設定、②仕



事と責任を与える組織づくり、③動機づけとコミュニケーション、④評価測定とフィードバック、⑤目標を達成し、成長する環境を整えることの5つを示しました。小野氏は最後に、まず身につけなければならない経営者の資質に「真摯であること」を挙げ、共感でき、信頼でき、真摯に向き合う姿勢を貫く経営者が組織をよくしていけると締めくくりました。

第2講は、「労使見解について学ぶ」と題し、㈱菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏が、『労使見解』から何を学び、何を大切にし、どのように実践してきたのかを語りました。

その後、4つのグループに分かれて、「会社の現状はどうなっていますか?」、「何のために経営していますか?」をテーマにグループ討論を行いました。自社の強みや弱み、自社の経営課題、社員とのかかわりについて考えあい、受講生は「何のために経営し、どんな会社になりたいのか」について深く想いを巡らせ、経営指針づくりに入りました。翌日にはできたばかりの経営理念を発表し、検討を行いました。



最後に、後藤代表理事が「お客様、社会、社員のため色々苦勞されているかと思いますが、自分も幸せにならなければなりません。この期間は苦悩の連続だと思いますが、作成して、反省してを繰り返し、乗り越えるとその先には明るい10年ビジョンの実現が待っています。悩み苦しんだ分だけ幸せが感じられます。踏ん張って経営指針を作成してほしい。経営指針をつくる会を通して、なくてはならない企業が増えていき、山形が元気になってほしい」とエールを送りました。

これから受講生は、自社の存在意義を問い直し、自分と自社に真摯に向き合いながら、自社の進むべき道を明らかにする経営指針書づくりに半年間かけて取り組んでいきます。



# 7月例会のご案内

## 山形支部

### Youは何しに山形へ?【納涼例会】

2023.7.28(金) 18:30~21:00

場所: そば処・郷土料理 紅山水& Zoom

山形市十日町2-1-8 ☎023-679-5102

報告者: (同) ビジネスソリューションパートナーズ

代表社員 佐々木剛氏

会費: 6,000円

7月例会は8月例会と2か月連続の企画です! 前編となる7月例会はビアパーティメインで、報告者の(同) ビジネスソリューションパートナーズの佐々木氏よりミニ報告をいただきます。人口減少が進む中で、地方の中小企業において人材を巡る様々な課題は切実なものとなっています。皆さんはこの課題をどうやって克服しようと考えていますか? 佐々木氏は、あえて地方の“どまんなか”で暮らし、起業して、日本の未来を変える可能性にチャレンジする! そんな志で山形に移住されました。7月例会では、なぜ山形でなければならなかったのか佐々木氏のミニ報告をお聞きし、美味しいお料理とビールで懇親を深めましょう! 皆様のご参加をお待ちしております!

## 寒河江支部

### ビアパーティー

2023.7.20(木) 18:30~20:30

場所: 陣屋六兵衛

寒河江市本町2-1-53

報告者: (株) 陣屋六兵衛

代表取締役 柏倉 城太郎氏

会費: 6,000円

寒河江支部の7月例会はビアパーティーです。  
お酒を酌み交わしながら、経営のこと、同友会のこと、地域のこと、大いに語り合い、交流を深めていきましょう。  
また、今回は(株) 陣屋六兵衛 代表取締役 柏倉 城太郎氏にミニ報告をいただきます。  
皆様、是非奮ってご参加ください。

## さくらんぼ支部

### 想いを示し、全社一丸体制へ ~社員と向き合い、共に育ちあう組織へ~

2023.7.18(火) 15:00~17:30

場所: 東根市タントクルセンター栄養指導室& Zoom

東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1151

報告者: (有) 笹木製作所 代表取締役 笹木浩二氏

脱サラし、地元山形に戻り、侗笹木製作所を立ち上げた笹木氏。取引先が求めるものは作れても、儲けとは程遠い日々が続きました。ワンマンで強く引っ張ろうとする笹木氏を前に、社員は「俺たちで回すから関わらないで」と反発し、社員の定着も進みませんでした。そんな中、同友会に入会し、社員共育委員会に参加。自分の中のすじを通したいと経営指針をつくる会を受講しました。経営指針書の実践と、対話と共育を大切にしてきた経営報告から学ぶ機会としましょう。皆様のご参加をお待ちしております!

## 置賜支部

### ビアパーティー

2023.7.28(金) 18:00~20:00

場所: 上杉伯爵邸

山形県米沢市丸の内1丁目360 ☎0238-21-5121

会費: 7,000円

会員同士がつながりを深め、顔と企業が見える支部を目指し、7月例会は上杉伯爵邸にてビアパーティーを行います。ビアパーティーは知り合い、交流を深める絶好の機会です。経営者の熱い思いが企業と地域の未来を切り拓く鍵です。明日の経営の種を持ち帰りましょう。

## 庄内支部

### 無印良品が見据える地域の可能性 ~「土着化」の取り組みから庄内の新たな可能性を探る。~

2023.7.26(水) 17:30~20:00

場所: 酒田市中央公民館 310中研修室

酒田市中央西町2-59 ☎0234-24-2992

報告者: 無印良品計画 営業本部販売部北日本エリア酒田プロジェクト担当  
伊藤遼哉氏・松本菜乃花氏

19年に市とのパートナーシップ締結、20年に移動販売開始、21年にPOP-UP STORE 開店と、年々酒田市とのつながりが強まっている無印良品。庄内支部7月例会は、無印良品計画で酒田エリアの地域連携業務、開発交渉を手掛ける伊藤氏と移動販売業務、店舗業務に携わる松本氏をお招きし、無印良品の「今までどこから」について語っていただきます。

無印良品が取り組む「土着化」とは?

今回は様々な事例を参考にしながら、庄内でいま起きている課題や可能性について参加者全員で考えます。

ぜひお誘いあわせの上で参加ください。

## 新庄最上支部

### ヌマザワ流SDGs実践術 ~未来から愛される企業を目指して~

2023.7.18(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 相談室

新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

報告者: (株)ヌマザワ 代表取締役 沼澤紘一氏

現在、持続可能な開発目標(SDGs)の認知度は年々上昇しており、86%の方が知っていると答えていますが、内容を理解し実践されている方は3分の1程度だそうです(電通調べ)。皆様の会社ではいかがでしょうか?

新庄でSDGsと言えばおそらく右に出る者がいない、株式会社ヌマザワの沼澤紘一社長をお招きし、まだまだ誤解の多いSDGsの基礎から、社員教育や採用に役立つ実践例、SDGs的視点から見た自社や地域の未来像についてご報告いただきます。

**■開会挨拶**

菅原代表理事が、中同協幹事会での加藤会長の「問題は環境の変化で仕事が無くなること。危機感を持っている方と持っていない方で意識に随分差があり、変化を捉えなければならない。経営戦略が時代に合っているかを確認できていない方が多い。自社だけではそんなことはない、と思うのは危険である」という問題提起について触れ、「同友会は自己変革の場。企業変革支援プログラムver2を活用し、自分の立ち位置を確認して学びを深めていって欲しい」と挨拶しました。

**■学習会**

●コーディネーター:菅原代表

2011年全国共同求人交流会in宮城で故赤石義博氏が基調講演した報告を読み合わせた後、討論を行いました。

**■報告事項**

1)中同協第5回幹事会報告(6/6 Zoom)4名参加

菅原代表理事が、広浜会長の「中小企業家同友会の立ち位置が変わり果たすべき役割が大きくなっている」という挨拶、増強の現状や条例づくりの取り組みについての報告、企業変革支援プログラムver2の特徴として①経営指針の実践を支援するもの②企業変革支援プログラムのSTEP1と2をまとめた内容である③具体的な事例が列挙されている④新しく社会的責任の部分が追加されているということを紹介し、「山形でも企業変革支援プログラムver2を活用し、広めていきたい」と報告しました。

2)第4回学生と先生のための中小企業サミット(東京)6/9 3名参加

全国から72ブース・相談3ブース、学生90名、短大・専門学校15名。大江理事より「熱気があり、これからインターンシップが採用にとって益々重要になってくるのを感じた。今回のサミットは意欲的な学生が多く、次々と企業ブースを回っているようだった。インターンシップは地方の企業や働き方を知る良い機会。市町村とも協力し、都市圏の学生が参加できる仕組みや充実したプログラムを用意する必要があるのではないか」と報告がありました。

3)2023年度5月次報告

矢作事務局長より報告がありました。

4)2023年度5月次決算報告

矢作事務局長より報告がありました。

**■承認事項(入・退会承認)** 5名入会・1名退会 461名

**■討議事項**

**議題1:役員研修会について**

1)参加申込状況 44名 懇親会22名

川合代表理事が参加申込状況について報告した後、タイムスケジュールと役割分担について提案し、承認されました。

**議題2:北海道・東北ブロック支部長地区長交流会について**

●日時:9月21日(木)13:30~22日(金)11:50

●会場:山形国際ホテル

川合代表理事より、後藤代表理事を実行委員長とし、実行委員会形式で準備を進めていくことの提案があり承認されました。また、「今回は山形が開催地ということで、是非多くの参加をしていただきたい」と参加呼びかけがありました。

**議題3:(一社)山形県発明協会との包括的連携協定について**

菅原代表理事より(一社)山形県発明協会との包括的連携協定に関する説明と提案があり、承認されました。

**議題4:第39回定時総会のまとめ**

武内理事が、価格が上がり収支はぎりぎりであったことから、「今後の全県行事では参加費や参加目標など検討する必要がある」と報告した上で、まとめ案を提案し、承認されました。また、講師の加藤氏より山形の課題として「人を生かす経営」の社員とのコミュニケーションが弱いと指摘があり、「支部例会等のテーマにしていきたい」と、述べました。

**議題5:各委員会・部会より**

1)組織委員会

菅原委員長より、下記の報告がありました。

- ・各支部の目標達成に向けて支部幹事会で決めた内容を引き続きサポートしていく。
- ・入会申込書に委員会・部会の参加申し込み欄を記載するだけでは、入会した方が自然に委員会活動へ参加するような仕組みづくりについて継続審議していく。
- ・HPについては広報委員会で検索ワード等も調べているが、まだ時間が必要である。
- ・組織委員会のセミナーは時代の変化を捉える為の学びの場づくりとして7月には武内氏よりJクレジットをテーマに、10月には中小企業の海外展開をテーマに、2月には技術革新をテーマにすることが決定。
- ・10年ビジョンについては市場縮小をテーマに中小企業が何ができるかについて議論した。

2)経営指針委員会

●第28期経営指針をつくる会 第1講 受講生:8名 修了生:36名

小川委員長より「6月10~11日に第28期経営指針をつくる会がスタートし、一日目の午前は山形大学の小野先生、午後は社員共育委員長の庄司氏よりお話をいただいた後、受講生と修了生でグループ討論を行った。久々に参加された修了生もいて、とても良かったという声もあった。最近受講生だけではなく、修了生も学びを深められる会を目指している。是非ご参加いただきたい」と報告がありました。

**議題6:行政・他機関・団体からの依頼について(承認事項)**

- 1)山形県[YAMAGATA bizウーマンキャリア形成応援事業]からの依頼事項が承認されました。
- 2)山形IT共同組合[ITフェア]の後援依頼が承認されました。

**■その他**

1)今後の予定について

- ・6月13日(火)~14日(水)中同協障害者問題委員会(青森)
- ・6月22日(木)~23日(金)第26回女性経営者全国交流会(福岡)
- ・6月24日(土)東北青年経営者フォーラムin福島(福島)
- ・7月13日(木)~14日(金)中同協・第55回定時総会(埼玉)
- ・7月14日(金)中同協代表者会議(埼玉)
- ・7月19日(水)幹部社員研修第1講(山形ビッグウィング)13:30~
- ・7月20日(木)第28期経営指針をつくる会第2講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・7月24日(月)役員研修会第2講(TISカンファレンスセンター)13:30~
- ・8月22日(木)組織強化・会員増強全国交流会(ZOOM)
- ・8月23日(水)幹部社員研修第2講(山形ビッグウィング)13:30~
- ・8月26日(土)第28期経営指針をつくる会第3講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・8月31日(木)~9月1日(金) 2023経営労働問題全国交流会(山口)
- ・9月1日(金)中同協・経営労働委員会(山口)
- ・9月14日(木)~15日(金)第51回青年経営者全国交流会(広島)
- ・9月21日(木)~22日(金)北海道東北ブロック支部長・地区長交流会(山形)
- ・9月28日(木)第28期経営指針をつくる会第4講(TISカンファレンスセンター)9:00~

2)今後の常任理事会と理事会について

|          |               |        |                |
|----------|---------------|--------|----------------|
| 第3回常任理事会 | 7月5日(水)16:00  | 第3回理事会 | 7月12日(水)15:00  |
| 第4回常任理事会 | 8月2日(水)16:00  | 第4回理事会 | 8月9日(水)15:00   |
| 第5回常任理事会 | 9月6日(水)16:00  | 第5回理事会 | 9月13日(水)15:00  |
| 第6回常任理事会 | 10月4日(水)16:00 | 第6回理事会 | 10月11日(水)15:00 |

**■閉会挨拶**

阿部副代表理事より「今回は、80%の方が中小企業で働いているが、大卒のほとんどが大企業を志望しているという話があった。私たちの会社で働いている方々が親となって育てた子どもたちが大企業を志望していること、中小企業で働いている方々がもっと満足していれば、中小企業を目指す子どもたちも増えていくのではないかと。そのためにも、積極的に同友会にかかわって欲しい」と挨拶がありました。

**新会員紹介**

すがの ありす  
◆ **菅野 亜梨子氏**

(株)E旅 営業部長  
旅行代理店  
山形支部

かんの ひろこ  
◆ **菅野 寛子氏**

西河産業(株) 取締役  
土木事業、資材・リース販売  
山形支部

やまぐち ともや  
◆ **山口 友也氏**

ういずグループういず鍼灸整骨院 院長  
整骨全般・鍼灸等  
寒河江支部

こんた たもつ  
◆ **今田 保氏**

特定非営利活動法人福祉グループ  
コアラやまがた泉央 理事長  
福祉  
さくらんぼ支部

あおき こういち  
◆ **青木 紘一氏**

(有)青木建材 ドローン事業部  
ドローン活用による地域活性事業  
庄内支部・鶴岡

**会員変更**

- (株)山形ハーネス 専務取締役 木野徹氏  
⇒ 代表取締役 水口啓一氏(庄内支部・鶴岡)
- (株)セロン東北 執行役員米沢支社長 木村勝彦氏  
⇒ 取締役米沢支社長(置賜支部)
- (株)セロン東北 執行役員鶴岡支社長 菅原政久氏  
⇒ 取締役鶴岡支社長(庄内支部・鶴岡)
- (株)セロン東北 寒河江営業所長 佐藤尚氏  
⇒ 執行役員寒河江営業所長(寒河江支部)